



東京の障害者スポーツ

～エンジョイスポーツライフ～

〔編集・発行〕公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

2018年
(平成30年)
3月15日

78号



熱戦が繰り広げられました!
第18回東京都障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール

目次

- P1** 第19回東京都障害者スポーツ大会兼
第18回全国障害者スポーツ大会派遣選手選考 開催案内
- P2** 第18回東京都障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール
- P3** 東京都障害者総合スポーツセンター **お知らせ**
- P4** 東京都多摩障害者スポーツセンター **お知らせ**
- P5** 地域での活動 障害者スポーツフォーラム
- P6** 東京にパラリンピックが来る! **第17回** パラトライアスロン
- P7** 事業報告

【開催案内】 第19回東京都障害者スポーツ大会 兼第18回全国障害者スポーツ大会 派遣選手選考会



毎年、約6000名の選手が参加し、約5000名のボランティアにご協力をいただいている東京都障害者スポーツ大会が5月から始まります。障害者が参加する都内最大規模の大会で、全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会も兼ねています。駒沢オリンピック公園総合運動場をメイン会場とし、都内各地で年間を通して行われます。なお、昨年度と会場の異なる競技がありますのでご注意ください。

障害者スポーツを始めたい、観戦したい、支えたいとお考えの皆さま、大会を通じて障害者スポーツにふれてみませんか？自由にご観戦いただけますので、ぜひ会場に足をお運びください。

武蔵野の森総合スポーツプラザ／東京都多摩障害者スポーツセンター



北区桐ヶ丘体育館



東京武道館



開催競技一覧 (昨年度と異なる会場…★)

競技	日程	会場
合同開会式	平成30年5月6日(日)	★武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ
サウンドテーブルテニス(身体部門)	平成30年5月20日(日)	★東京都多摩障害者スポーツセンター(調布) 集会室等
卓球(身体・精神部門)	平成30年5月26日(土)	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
卓球(知的部門)	平成30年5月27日(日)	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
陸上競技(知的部門)	平成30年5月26日(土)・5月27日(日)	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
陸上競技(身体・精神部門)	平成30年6月2日(土)	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場・補助競技場
水泳(身体・知的部門)	平成30年5月26日(土)・5月27日(日)	★武蔵野の森総合スポーツプラザ プール
フライングディスク(身体・知的・精神部門)	平成30年5月26日(土)	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
ボウリング(知的部門)	平成30年5月27日(日)	東京ポートボウル
アーチェリー(身体部門)	平成30年6月3日(日)	江戸川区総合体育館 アーチェリー場
ソフトボール(知的部門)	平成30年5月20日(日)	光が丘公園 野球場
バスケットボール(知的部門)	平成30年5月26日(土)・5月27日(日)・ 6月2日(土)・6月3日(日)	★北区桐ヶ丘体育館 アリーナ (5月26日～27日) 板橋区立小豆沢体育館 室内競技場 (6月2日～3日)
フットベースボール(知的部門)	平成30年5月26日(土)	駒沢オリンピック公園総合運動場 軟式野球場
バレーボール(知的部門)	平成30年5月27日(日)	★駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場
サッカー(知的部門)	平成30年5月27日(日)・6月3日(日)	駒沢オリンピック公園総合運動場 第二球技場・補助競技場
ボッチャ(身体障害)	平成30年7月28日(土)	★武蔵野総合体育館 メインアリーナ
スポーツの集い(知的障害)	平成30年9月5日(水)	★武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ
グランドソフトボール(身体部門)	平成30年11月4日(日)	武蔵野中央公園スポーツ広場
車椅子バスケットボール(身体部門)	平成31年1月20日(日)	★武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ
バレーボール(精神部門)	平成31年1月23日(水)	★東京武道館 大武道場
バレーボール(身体部門)	平成31年2月2日(土)	★東京武道館 大武道場

東京都障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール

1月28日(日)、武蔵野総合体育館にて第18回東京都障害者スポーツ大会車椅子バスケットボール競技が行われました。各試合熱戦が繰り広げられ、AカテゴリーではNO EXCUSEが、BカテゴリーではBLASTが優勝をおさめました。数日前の大雪が残り足元の悪い中、国立市から小学生とそのご家族を対象とした観戦バスツアーが組まれ50名以上が観戦されたほか、多くの方に会場に足を運んでいただきました。



また、本大会はインターネットにてNO EXCUSE対COOLSの試合の生中継を行いました。解説には、アトランタ・シドニー・アテネパラリンピック車いすバスケットボール日本代表の三宅克己さん、特別ゲストにバスケットボール経験者でもあるタレントの今井華さんを迎え、ルールなどを交えながら配信し、生放送中の視聴数は約4万回を記録しました。今回の試合の様子は、現在も「FRESH! (フレッシュ)」から視聴いただけます。パソコンやスマートフォンアプリで「TOKYO パラスポーツチャンネル」を検索いただき、ぜひ熱戦をご覧ください！

● 試合結果

Aカテゴリー	東京 ファイターズB.C	NO EXCUSE	COOLS	順位	Bカテゴリー	BLAST	La Vitz	GRACE	順位
東京 ファイターズB.C		59-75	51-55	3位	BLAST		58-30	54-33	1位
NO EXCUSE	75-59		71-33	1位	La Vitz	30-58		36-48	3位
COOLS	55-51	33-71		2位	GRACE	33-54	48-36		2位



団体会員様向け観戦ツアーを開催！

今年度より、東京都障害者スポーツ協会団体会員様を対象に東京都障害者スポーツ大会の観戦ツアーを実施しています。今回は団体正会員3団体の方々にご参加いただきました。

当日は試合前に会議室にてルールや試合の見どころを当協会スタッフより説明。その後体育館に移動し、NO EXCUSE対COOLSの試合を実際に観戦しました。試合は最終的には点差がついたものの、第2ピリオドまでは接戦。高さを活かして攻めるNO EXCUSEに対し、スピードで対抗するCOOLSの熱い攻防に目を奪われたようでした。試合後は「奥が深くて楽しかった」「今後はボランティアをしたい」等の声が聞かれ、障害者スポーツの支援に関心を持っていただくきっかけとなりました。



●地域交流バドミントン大会(中・上級者)

2月3日(土)、足立区総合スポーツセンターにて、足立区バドミントン協会主管のもと、実施されました。

この大会は64名の参加者を4クラスに分け、全てのクラスの試合をダブルスで行いました。

日本代表候補となるようなレベルの高い選手も参加されており、激しいスピードでラリーの応酬を繰り広げるなど、白熱した試合が行われました。



また障害の有無や種類の垣根なくペアを組み、ともに試合をすることで互いに交流し合い、親睦を深めるきっかけとなった、とても有意義な大会となりました。

大会に参加された皆様、お疲れ様でした！

●平成29年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

今年度は東京都障害者総合スポーツセンター改修工事に伴い、東京体育館にて、1月22日(月)、23日(火)、25日(木)、29日(月)、30日(火)の5日間で、実施しました。初日に降雪があり、交通機関の遅延など様々な影響もありましたが、無事終了することができました。

都内体育施設の職員や各地域のスポーツ推進委員、学生など参加された方は幅広く、計46名が受講されました。講義では障害者スポーツの意義と理念や全国障害者スポーツ大会の概要などを学び、実技では実際に車いすに乗ったり、ボッチャやふうせんバレーボールの体験等、障害者スポーツを実施する上での様々な工夫や注意点を学び、理解を深めました。

講習会中、受講生同士での活発な議論が生まれるなど、積極的に参加される姿が印象的でした。皆様の今後のご活躍を期待しています！



東京都障害者総合スポーツセンター改修工事工期延伸について

東京都障害者総合スポーツセンターは、平成30年4月よりリニューアルオープンの予定でしたが、改修工事の工期延伸に伴い、平成30年7月よりオープン予定に変更となりました。

利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。

スポーツセンター利用案内

利用時間 午前9時～午後9時まで。スポーツ施設は、午前9時～午後8時30分まで。屋外施設は、4～5月は午後6時30分まで。正午～午後1時までスポーツ施設は、休憩時間となります。宿泊室は、チェックイン午後3時から、チェックアウト翌日午前10時となっています。 **休館日** 毎週水曜日・祝日の翌日・年末年始

利用対象 ・障害者手帳所持者 ・前記の介護者 **使用料** 無料(ただし宿泊室は有料) **利用方法** 個人で初めて利用される方は、障害者手帳をご持参ください。利用証を発行します。次回からは、利用当日に利用証をご持参ください。団体での利用及び宿泊施設利用は、予約制となっています。また、施設の予約は3ヶ月前より受付をしています。

※東京都障害者総合スポーツセンターの宿泊施設は改修工事期間中はご利用になれません。

●改修工事に伴う、代替施設（調布庁舎）の紹介

東京都多摩障害者スポーツセンターは改修工事期間中、調布市にある味の素スタジアム内屋内施設で4月10日（火）から平成31年5月末までの間、代替営業を行います。

営業時間や利用方法については、現在のセンターと同じです。今の利用証をそのままお使いいただけます。また、新規の利用登録も受け付けます。詳しくはセンターHP、またはセンターに直接お問い合わせください。

場所：味の素スタジアム内 東京都調布庁舎（東京都調布市西町376-3）

※最寄り駅は京王線の飛田給駅です。施設の場所は味の素スタジアムのメインゲートの裏側です。



施設紹介

（一階）受付／トレーニング室／多目的ルーム／集会室／印刷室／更衣室／憩いの広場（ロビー）

（地下）体育室／卓球室／STT室／更衣室（シャワー）／家族更衣室

事業紹介

施設の一般開放のほか、健康スポーツ相談、各種スポーツ教室や大会、障害者スポーツに関する講習会など各種事業をご用意して皆さんのお越しをお待ちしております。

※調布庁舎にはプールがありませんので、水泳関係の事業は武蔵野の森総合スポーツエリアなど近隣施設を使用して実施します。事業の詳細については、センターHPでご確認ください。



アクセス

●送迎バスについては、次の2系統で運行します。

■谷保駅 ↔ 国立駅 ↔ 調布庁舎 ■飛田給駅 ↔ 調布庁舎

※運行ダイヤについては、センターHPでご確認ください。

●お車でご来館の方は、味の素スタジアム内駐車場の入退車口から入り、時計回りにお進みください。お車は調布庁舎付近の指定場所のみの駐車となります。

●徒歩でご来館の方は、味の素スタジアムメインゲート下の一階部分から構内に入り、時計回りに点字ブロックに沿ってお進みください。

お問合せ

東京都多摩障害者スポーツセンター（東京都調布庁舎）

TEL 042-440-2238 【※電話の開局は3月26日（月）からとなります。】

※なお、現在のセンターは平成30年3月10日（土）から平成31年6月末まで、改修工事のため閉館となりますので、予めご承知ください。

スポーツセンター 利用カレンダー

2018年3月～5月

● …… 休館日

3月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

4月	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

5月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

地域での活動

地域でのコーチングの可能性を見た ― 障害者スポーツフォーラム開催in明治大 ―

2月24日(土)、明治大学中野キャンパスを舞台に「障害者スポーツフォーラム」を開催しました。「“コーチング”について考える」をテーマに、障害者スポーツで活躍されているオリンピック・パラリンピアンや第一線で指導されているコーチの方々より、その考え方や接し方などについてお話を伺いました。会場には221名の受講者が集い、活発に熱く繰り広げられました。



第1部 基調講演：人を導くためのヒント

基調講演では、NHKアナウンサー永井伸一氏の軽妙で和やかな進行のもと、オリンピックでありデフリンピックバレーボール女子日本代表監督の狩野美雪氏、パラリンピック水泳日本代表監督兼ヘッドコーチの峰村史世氏、パラリンピック車いすバスケットボール日本代表選手の森紀之氏より、コーチ・選手双方の立場から、人を導くための声かけの仕方やコミュニケーションの工夫、指導する際に心がけていること、コーチングの考え方について、実体験に基づく貴重なお話を聞くことができました。



第2部 熱いトークセッションが繰り広げられた分科会

分科会では、4つの障害に焦点をあて、それぞれの障害者スポーツでのコーチングについて熱いトークセッションが繰り広げられました。

● 肢体不自由

車いすテニスコーチの丸山弘道氏とパラ水泳コーチの八尋大氏より、選手個人の個性から能力を引き出すコツとして、障害のあるなしに関わらず、集団の中であっても個人を尊重すること、障害をマイナスに捉えるのではなく、出来る方法を常に探求することを学びました。

● 視覚障害

パラ水泳の寺西真人氏、5人制サッカーの山本夏幹氏からは、実際の指導場面の映像を見ながら、動作の習得は動きそのものを細分化して伝えること、効率よく練習を行うための用具の工夫などについて話を聞くことができ、しっかりとその人に寄り添うことの大切さを学びました。



● 聴覚障害

基調講演にも出演された狩野美雪氏、協和発酵キリン卓球部監督であり、デフリンピック卓球日本代表監督もされた佐藤真二氏からは、個人・団体競技における違い、選手や手話通訳など関わる方へ専門用語などを的確に伝える方法や合図の「みえる化」、触覚によるコミュニケーション方法等について、日頃の指導場面の様子を元にお話を聞くことができました。

● 知的障害

長年知的障害児・者のスポーツ活動に携わり陸上競技コーチとしても活躍されている江木ひかり氏、岡澤政子氏からは、選手が社会と繋がり日常生活の一部としてスポーツを行うために、厳しさを持った関わり方や、心に寄り添うことについて、様々なエピソードも交えユーモアたっぷりのお話を聞くことができました。

第3部 インフォメーション 障害者スポーツを支える魅力を伝えるドラマ映像の上映

障害者スポーツを「支える」人々の視点から描いた「ステップバイステップ-スポーツがつなぐギズナ-」の完成披露上映を行いました。地域で障害のある方のスポーツ活動には、支える人、関わる人がこれからも必要です。人とひとのつながりとなるコーチングは、選手だけでなく障害者スポーツを支える方にとっても重要な要素であることが今回のフォーラムを通じて大いに感じられた機会となりました。



今回はパラトライアスロンについて、その迫力ある見どころや多くの魅力をお伝えします。

パラトライアスロン

パラトライアスロンは、スイム（水泳）、バイク（自転車）、ラン（長距離走）の3種目をこの順番で連続して行う競技です。障害の種類や程度に応じてクラス分けされ、特別な道具の使用や用具の改造が認められています。オリンピックのトライアスロン競技の半分の距離（スイム0.75キロ、バイク20キロ、ラン5キロ、総距離25.75キロ）の合計タイムで順位を競います。



©Satoshi TAKASAKI/日本トライアスロン連合

パラリンピックのクラス分け

障害別に大きく3つの種別に分けられ、障害に応じて義足などの装具や、ハンドサイクル、車いすレーサーなどを使用しながら、順位を競います。東京パラリンピックでは男女各4クラスが実施される予定ですが、どのクラスが採用されるかは2018年12月末までに決定されます。

PTWC1・PTWC2（座位クラス）

車いすの選手が出場するクラスです。バイクではハンドサイクルを、ランでは競技用車いすを使用します。PTWC1（重い障害）・PTWC2（軽い障害）を分け、時間差でスタートします（※一斉スタートしフィニッシュ後に時間補正する場合があります。）

PTS2～PTS5（立位クラス）

切断や麻痺など肢体不自由の立位のクラスで、障害の程度により4つのクラスに分けられます。参加する選手は障害に応じて義肢や義足、クラッチ等を使用します。

PTVI1 (B1)、PTVI2 (B2)・PTVI3 (B3)（視覚障害クラス）

視覚障害の選手が出場します。スタートからフィニッシュまで、ガイド1名が伴走しゴールを目指します。バイクではタンデムバイクを使用します。

共に戦うサポーターの存在

過酷なレースを戦い抜くのに欠かせないのが、ガイドとハンドラーの存在です。ガイドとは、スタートからフィニッシュまで、視覚に障害のある選手に伴走するサポーターのことです。スイムとランでは1本の紐でつながり、バイクでは2人乗りのタンデムバイクの前に乗り、選手の目として安全にコースを導きます。また、ハンドラーという存在も非常に重要です。車いすの選手など比較的障害の重い選手のトランジションエリアにおいて、ウェアの脱着、自転車の乗降などをサポートします。ハンドラーと選手の連携で、大幅にタイムを短縮できる可能性もありますので、レース前にトランジションの練習も念入りに行います。こうした、選手を支える存在に注目してみると、選手と心をつなげて戦うサポーターの人たちの大切さを感じることができます。



©Satoshi TAKASAKI/日本トライアスロン連合

ITU世界パラトライアスロンシリーズ（2018/横浜）

2017年にシリーズ化された世界最高峰の大会、世界パラトライアスロンシリーズの開催都市の1つに横浜市が選ばれました。パラリンピックのメダリストをはじめとする世界のトップアスリートが横浜に集います。ITU世界パラトライアスロンシリーズ（2018/横浜）は2018年5月12日（土）・13日（日）に、神奈川県横浜市（山下公園）で開催します。

昨年の横浜大会の風景



©Satoshi TAKASAKI/日本トライアスロン連合



©Satoshi TAKASAKI/日本トライアスロン連合

今後の主要な大会日程

ITU世界パラトライアスロンシリーズ(2018/横浜) 日時 2018年5月12日(土)・13日(日) 会場 神奈川県横浜市山下公園

企業×障害者スポーツ競技団体等の交流会

2月15日(木)、東京国際フォーラムホールD5にて「企業×障害者スポーツ競技団体等の交流会」を開催しました。この催しは、障害者スポーツへの支援を検討している企業と、支援を必要としている競技団体等の交流の場を設けることにより、ネットワークの構築及びマッチングにつなげることを目的として開催しました。

当日は企業36社、競技団体32団体の計105名に参加いただき、堀江車輛電装株式会社、株式会社CAC Holdings、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会による企業と競技団体の連携に関する取組事例を紹介したほか、テーマ別の8つのグループ毎に情報交換を行いました。

当協会では引き続き、企業と障害者スポーツ競技団体との連携のサポートを行い、障害者スポーツの継続的な振興・発展に向けて取り組んでいきます。



第13回多摩ボッチャ大会

2月4日(日)、今年で13回目となる多摩ボッチャ大会を実施しました。東京都多摩障害者スポーツセンター独自のルールでOPENクラスとCWクラスの2クラスに分け、3名1組のチームでリーグ戦を行いました。

OPENクラスは、障害の種類は問わず、障害のある方であれば誰でも参加でき、CWクラスは、脳性麻痺等で四肢機能障害のある肢体不自由者で車いす使用者が参加できます。それぞれのクラスで、静けさの中で白熱した戦いを繰り広げていたのが印象的でした。

ご協力をいただきました、東京ボッチャ協会、東京都障害者スポーツ指導員をはじめとする競技役員の皆様ありがとうございました。ご参加いただいた皆様は、来年度の大会の優勝を目指し練習に励んでいきましょう！



東京都パラリンピック選手発掘プログラム全4日程が終了

2月3日(土)、小平市民総合体育館にて「東京都パラリンピック選手発掘プログラム」を実施しました。今回のプログラムでは、一定以上の競技経験を有する肢体不自由者及び視覚障害者を対象として計18名が新たな競技を見つけるため参加。



参加者は自分自身にさらに適した競技を見つけるため、体験プログラムや相談会などで熱心に話を聞いている姿が印象的でした。

今年度を振り返ると、参加者の競技レベルに応じて9月の第1回目を皮切りに11月、12月、2月の4日程で実施し、全体で延べ203名もの方が参加しました。

未来の東京都ゆかりのパラリンピアンがこのプログラムから多く輩出されることを期待しています！



編集後記

人は長く同じ環境にいと、知らず知らずのうちに偏った視点になっていることがしばしばあります。私も経験がありますが、一番恐ろしいのは、そのことに自分ではなかなか気づけない、ということです。春は新たな出会いの季節です。たくさんの人と話し触れ合ってみてはいかがでしょうか。新たな出会いがあなたの視野を広げてくれるでしょう。

そんなことを頭の片隅に置きつつ、お身体にお気をつけて、お過ごしください。

(総合スポーツセンター 鈴木)

平成30年2月1日現在の協会会員情報

個人正会員	293名	団体正会員	9団体
個人賛助会員	848名	団体賛助会員	50団体

※ご入会いただきました皆様、誠にありがとうございます。

公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ12階(東京都飯田橋庁舎)
(TEL) 03-5206-5586 (FAX) 03-5206-5587
(Twitter) @tosyokyo

東京都障害者総合スポーツセンター

〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2
(TEL) 03-3907-5631
(FAX) 03-3907-5613
(Twitter) @tsadsogo

東京都多摩障害者スポーツセンター

〒186-0003 東京都国立市富士見台2-1-1
(TEL) 042-573-3811
(FAX) 042-574-8579
(Twitter) @tsadtama